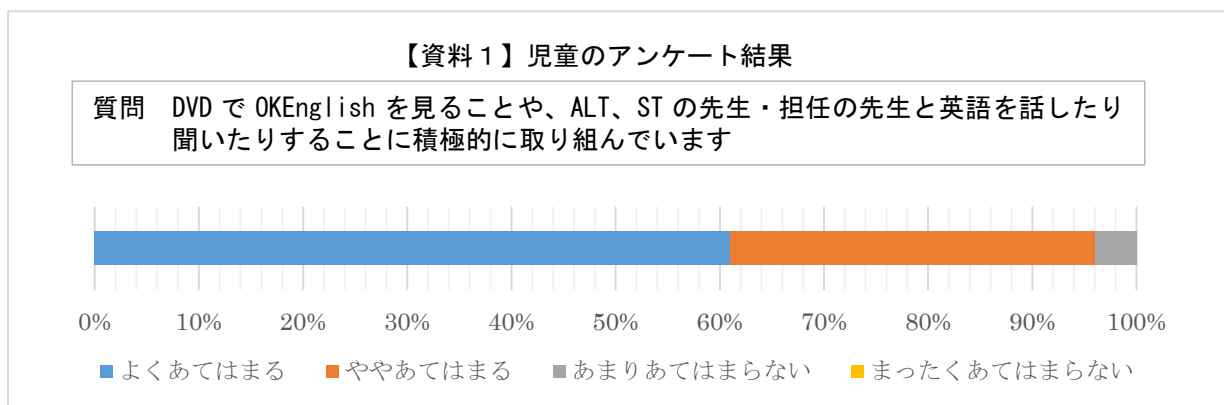


## 令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

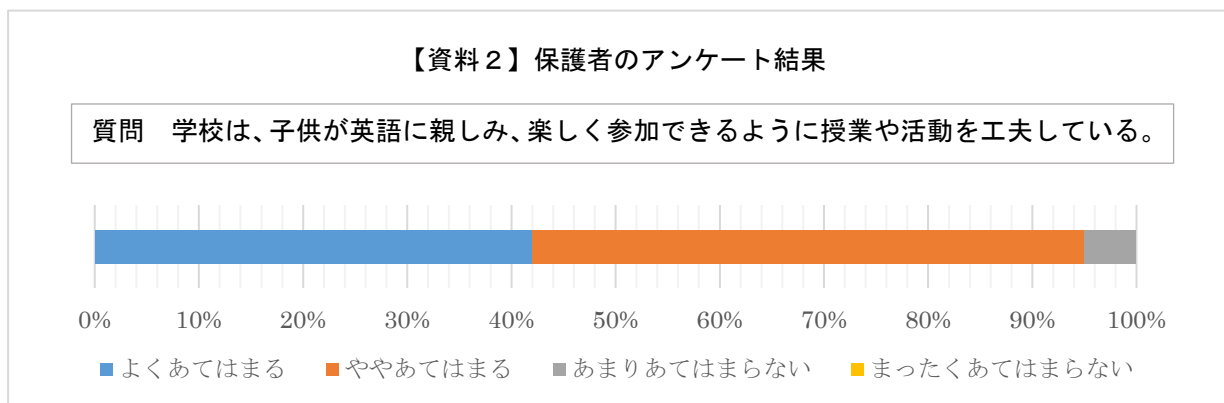
### 1 自己評価結果

令和5年度、児童にアンケートを行ったところ、「DVDでOKEnglishを見ることや、ALT、STの先生・担任の先生と英語を話したり聞いたりすることに積極的に取り組んでいます」という質問に対し、1年生から4年生までの結果は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童が全体の96%でした。毎日の英語活動の時間には、低、中学年の教室から元気よく英語を発音する声が聞こえてきます。また、1週間同じ映像を見続けるため、単語や簡単な文の表現に慣れ、聞き取る力や正しく発音する力が伸びています。



### 2 学校関係者評価結果

令和5年度に、学校関係者評価委員会で、英語活動の様子を見ていただきました。子供たちが集中してDVDを視聴し元気よく発音していること、低学年のうちから英語に慣れ親しみ、楽しそうに表現していることをすばらしいとほめていただきました。また、令和5年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、子供が英語に親しみ、楽しく参加できるように授業や活動を工夫している。」という質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が95%で、英語活動への取組についてたいへん高い評価を得ていることが分かりました。



### 3 まとめ

資料1を昨年度と比べると、「よくあてはまる」と答えた児童が大幅に増加(45%→62%)しており、児童は英語活動の時間にたいへん積極的に英語と関わっているといえます。また、資料2からは、『OKEnglish』の視聴を中心とした英語活動の取組が、保護者には一定の理解と評価をいただいていることが伺えました。

中学年の外国語活動の授業や高学年の英語の授業でも、積極的に聞き取ったり、表現したりする姿が見られ、低学年からの英語活動の積み重ねにより、教科としての学習へもスムーズに移行できたと考えます。DVDを見せるだけでなく、3、4年生では視聴後に単語や文を復唱する時間を設けるなどしてきましたが、今後は、1、2年生においても、1週間のスパンで、内容理解、表現練習(インプット)から発話(アウトプット)を繰り返し、さらに積極的に英語を活用できるようにしていきます。